

広報

# 心し

NO. 165

49.9.5 発行

発行・富士市役所  
富士市永田61-1

編集・  
企画調整部広報広聴課  
【毎月5日と25日発行】



市長の行政視察（道路や河川、学校、災害現場など約九十カ所を視察）



# 巡回入浴車「いずみ号」が10月1日より稼働

日本人は風呂が好きな国民だといわれています。人によつては毎日入らないと気持ちが悪いといえます。ところが、寝たきりのお年寄りは風呂が好きでもなかなか入浴できないのが実情のようです。このため日頃、家庭で入浴のできない寝たきりのお年寄りに入浴サービスをする巡回入浴車「いずみ号」が、10月1日から稼働をはじめます。

## 寝たきりのお年寄りも まくら元で入浴

老人福祉サービスとしては始める巡回入浴車は、車に給湯装置、温風装置、浴槽などを積み、寝たきりのお年寄りがいるお宅に伺います。そこで、浴槽を家の中に持ちこみ、まくら元や廊下などで入浴していただきます。

この巡回入浴車は、すでに水戸市や甲府市などで使用しているので、福祉事務所の担当者が水戸市に出かけ現状を見てきました。利用者の中には、3年間もお風呂に入ることができずにいたおじいさん、お風呂を沸かすまでに疲れてしまい、入ることもできなかったひとり暮らしのおばあさんなど多くの人に喜ばれ、入浴車が来るのを待っているとのことでした。

富士市でもこうしたお年寄りのお宅を巡回しますが、もちろん利用していただく場合は無料です。

入浴車は小型自動車で、運転手、保健婦、ヘルパーの3人が乗り、対象者の家庭を巡回します。入浴は、家族の方にも協力していただきますが、お年寄りも家の中なので、安心

して入ることができます。なお、お年寄りは毎日健康状態が変わるので入浴していただく前に、血圧や脈博体温などを調べ、事故のないように十分注意します。

## 問合せ、申込みは 福祉事務所福祉課へ

対象になる方は、市内に住んでいる60才以上の寝たきりのお年寄りなどで、医師が入浴してもよいと認めた人です。

この巡回車を利用する場合は、福祉事務所福祉課にある「巡回入浴車派遣申請書」に医師の診断書を添え福祉事務所長宛に申し込んでいただきます。

なお、申請を受けると入浴車が何う日時などを連絡しますが、2回目からは、定期的に訪問するようになります。

巡回入浴車について、くわしくお知りになりたい方は、福祉事務所福祉課（電51-0123 内線234）へお問い合わせください。



【巡回入浴車と浴槽】

## 1年間に114件の自転車事故

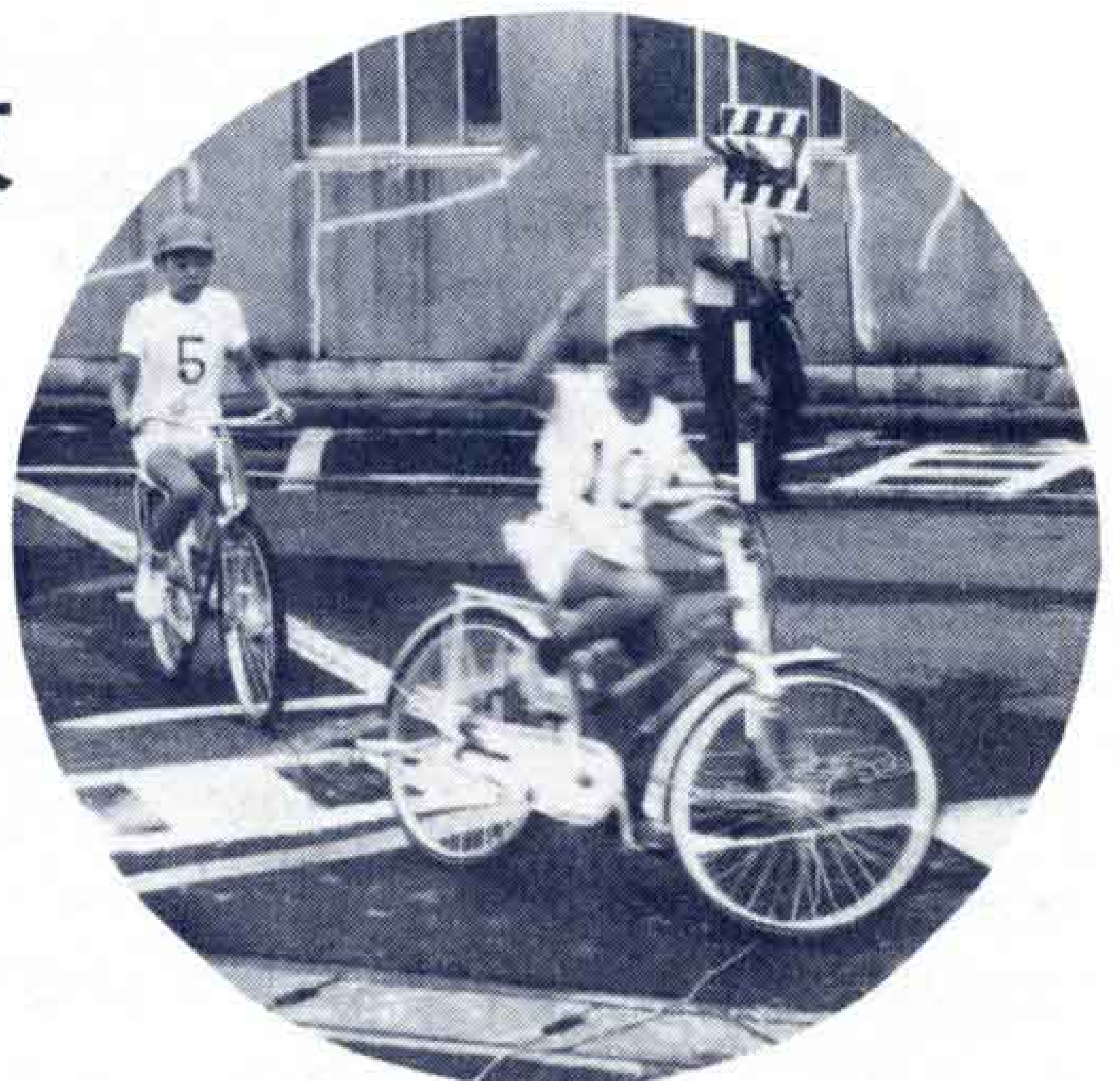
最近、自転車の利用者が増え、日曜日など家族そろってサイクリングに出かける家庭もあります。ところが、自転車の利用者が多くなるにつれ、自転車事故も増加し、昨年は144件もありました。また、今年になって1月から6月までに65件もあり、2人死亡し、64人がケガをしています。

ところで、昨年発生した114件の事故を年齢別、原因別に見ると次のような結果になります。

年齢別発生件数では、60才以上のお年寄りの事故が最も多く24件、次いで40代の19件、20才代の15件、30才代の14件、小学生の13件、50才代の10件などとなっています。

原因別では、多くの事故が自転車の運転者が違反していたり、正しい乗り方をしなかったために起っています。自転車の運転者に違反がなかった事故は23件だけです。

このようなことから、自転車事故のほとんどは、運転者が正しい乗り方をすれば防止できるはずです。みなさんが自転車に乗った時のことを思い出してください。1度や2度、ヒヤッとしたことがあると思います。



【自転車の安全な乗り方コンテスト】

小学校では、低学年の児童が道路で自転車に乗ることを禁止し、高学年の生徒には、自転車の安全な乗り方教室を開いて指導していますから、大人よりも子供の方が自転車の正しい運転マナーを知っています。交差点で見えても信号が青だからといって、そのまま右折するのは大人だけです。子供は2信号で必ず通行しています。

自転車にも自動車と同じように道路交通法で決められている正しい通行方法があります。自分の身を守るためにも正しい運転をしてください。

# 自転車利用者の事故が増加

## 交差点では2信号通行

自転車の正しい乗り方といっても別にむずかしいことはありません。酒を飲んだときや非常に疲れているときは絶対に乗らない、2人乗りをしない、手に物を持って片手で運転しないなどごくあたりまえのことです。それでは安全な通行をするのに必要なことをあげてみますので必ず守ってください。

- ・夜間は歩道を利用して安全に
- ・夜の事故防止に夜行テープを
- ・右折は必ず2信号で通行

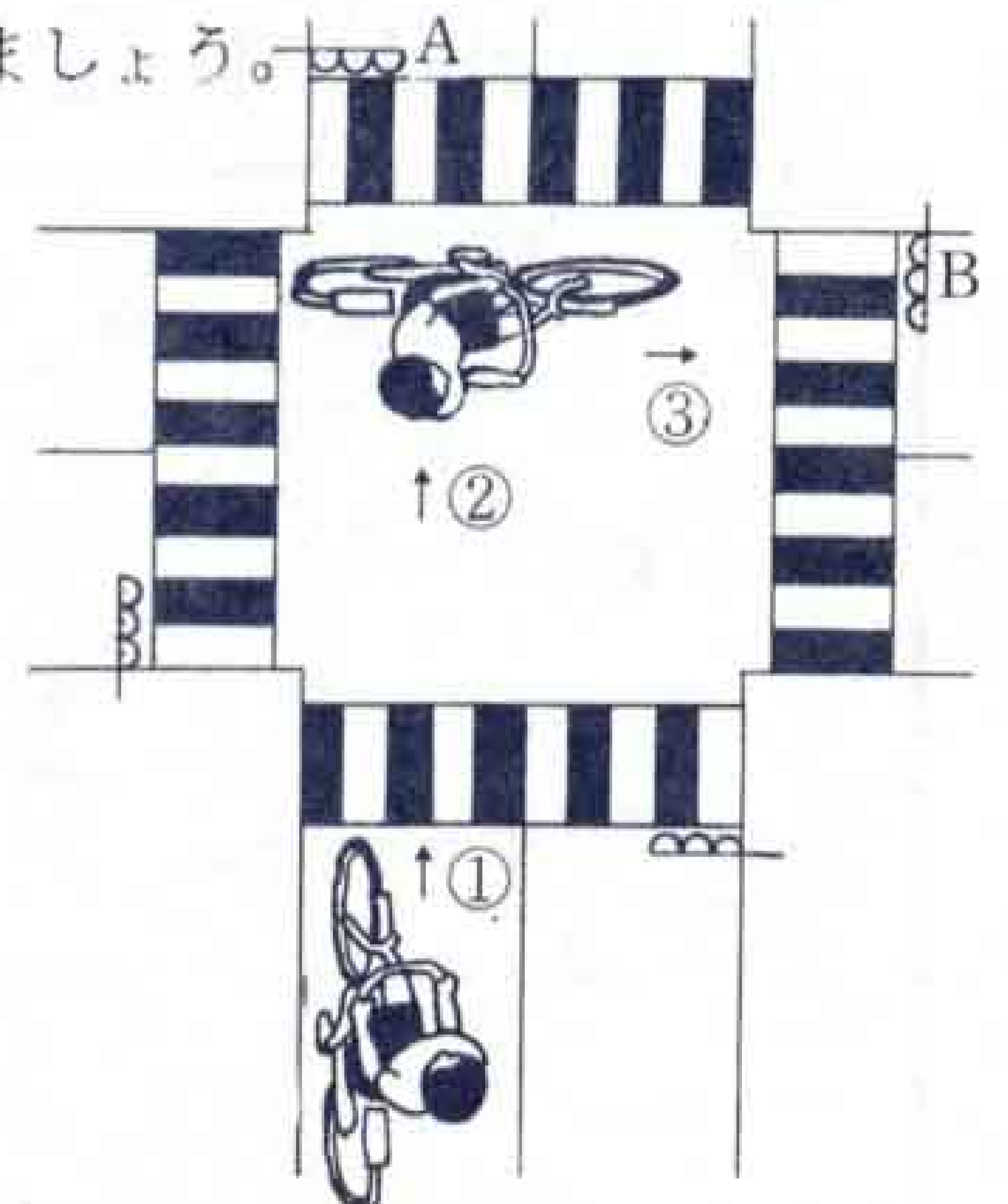
・進路変更には必ず合図と後方確認

・高令者はできるだけ自転車に乗らない

以上のことを守って運転するだけでも多くの事故が防止できますから十分注意してください  
※右の図は信号機のある交差点を右折する時の方法で、2信号通行です。

まず、①でAの信号が青になったら右折の合図をしながら、交差点の端にそって徐行して進

行します。②で一旦停車し、自転車の向きを③の方向に変えてBの信号が青になるのを待って発進します。信号機のない交差点でも、事故防止のためにできるだけ信号方法によって進行しましょう。



秋の全国交通安全運動 9月21日 ~ 9月30日

物化酸ウオイ

# 高濃度出現率が減少

昭和48年度のイオウ酸化物測定結果が先ごろまとまりましたので、お知らせいたします。

測定は富士保健所、吉原第3中学校、勤労青少年会館、元吉原中学校など9カ所で行なっています。また測定が同じ条件でできるように、昨年、市の測定局は観測小屋の建設を行ないました。

富士市のイオウ酸化物濃度は、毎年すこしずつ減少していましたが、48年度の富士保健所、勤労青少年会館、鷹岡公民館、大淵中学校では、年間平均値が前年を少し上回っています。しかし、これまで常に高濃度を記録していた今泉小学校、伝法公民館については減少しています。

そこで、新環境基準と市内の測定結果を比較してみると、1時間値0.1 PPM以下の達成率は、全測点97ヶ所以上となっています。これを時間数になおすと年間を通じ0.1 PPMを超えたのは約100時間となり、特に大淵中学校は99.8ヶ所(0.1 PPM以上の時間数13時間)、富士保健所は99.4ヶ所(49時間)とほぼ環境基準を満足しています。

また、0.2 PPM以上(0.2 PPM以上が3時間継続すると、緊急時注意報を発令)の高濃度は、勤労青少年会館、吉原第3中学校の2測点で記録しましたが、いずれも注意報の発令までにはなりません。ほかの7測点においては、1度も記録されず高濃度出現の可能性は非常に少なくなりましたといえます。

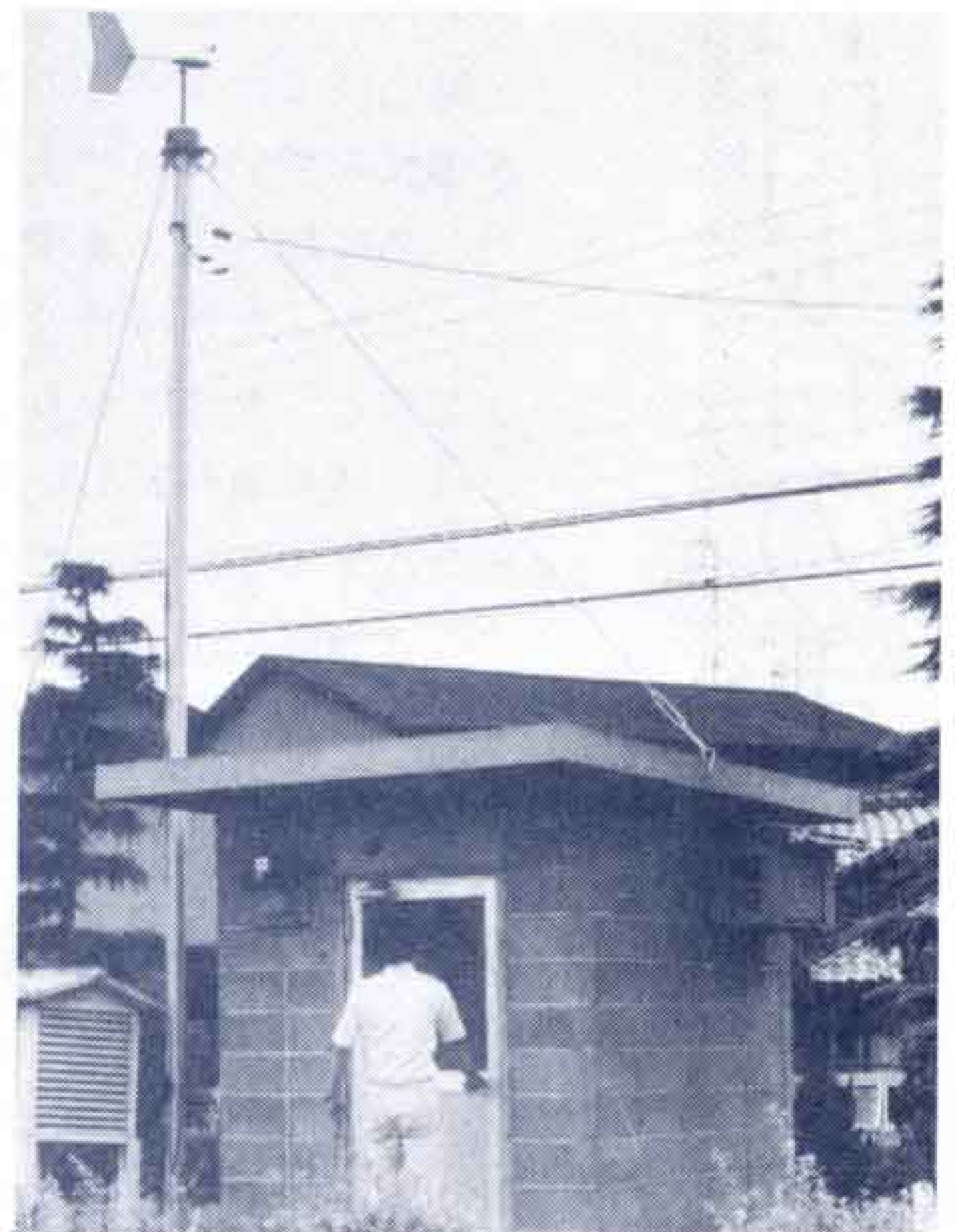
これは、市が昨年10月に使用燃料中のイオウ分を1.5ヶ所以下のものとするように指導したことや、発生源の自粛による結果と推察されます。

しかし、1日平均値0.04 PPM以下の達成率は依然と低く、市内平均で約60ヶ所にとどまっています。特に今泉小学校23.6ヶ所、伝法公民館は41ヶ所と非常に低い結果が出ています。これは、富士市の発生源工場の操業状態が24時間連続稼働しているためで工場が集中している伝法、今泉地区にその結果が現われたものと思われる。

新環境基準達成の最大目標である1日の平均値0.04 PPMにつ

いては、昭和51年度を目標にしており、当面の課題となっているのは、昭和50年度、年平均0.03 PPMの達成です。すなわち「503計画」は、年次別に新環境基準を達成していくものです。

新環境基準はイオウ酸化物の1時間値の1日平均値が0.04 PPM以下、かつ1時間値が0.1 PPM以下となっています。

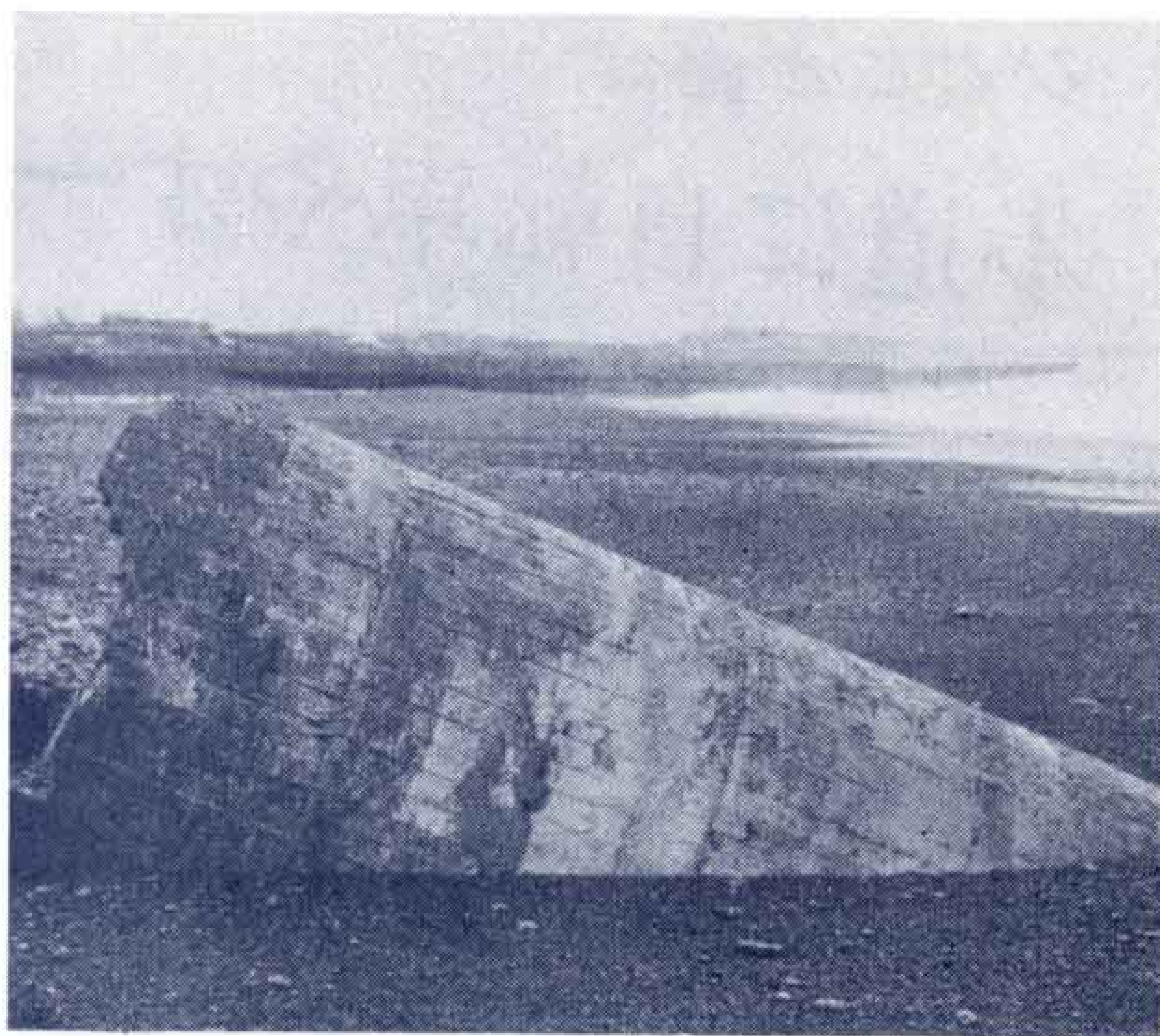


【同じ条件で測定ができるように観測小屋を建てる】

## 昭和48年度イオウ酸化物測定結果

(昭和48年4月1日～昭和49年3月31日)

測定場所	測定			20時間以上測定日数	0.1 PPM以下		0.04 PPM以下		年間平均値 (PPM)
	日数	時間数	稼働率(%)		出現時間	達成率(%)	出現日数	達成率(%)	
富士保健所	347	7766	88.7	307	7717	99.4	220	71.7	0.034
吉原第3中学校	353	7976	91.1	318	7829	98.2	188	59.1	0.035
勤労青少年会館	351	7967	90.9	317	7807	98.0	168	53.0	0.040
元吉原中学校	357	7815	89.2	307	7634	97.7	181	59.0	0.038
富士中学校	332	7497	85.6	293	7412	98.9	215	73.4	0.031
鷹岡公民館	352	7968	91.0	313	7913	99.3	207	66.1	0.039
大淵中学校	329	7400	84.5	290	7387	99.8	257	88.6	0.025
今泉小学校	354	8063	92.0	322	7909	98.1	76	23.6	0.047
伝法公民館	352	7843	89.5	310	7713	98.3	127	41.0	0.043



## 海岸を浸蝕から守ろう...

### 中丸付近では堤防から 波打ちぎわまで10メートル

上の2枚の写真は、元吉原海岸で8月に撮影したものです。エントツのような筒は、年配者の方ならよくご存知の毘沙門天裏の海岸にあったプールの井戸です。数年前までほとんど砂にかくれて見えませんでした。が、浸蝕が進むにつれて4メートル以上も露出し、8月26日の台風14号の高波でついに倒れてしまいました。

富士市の海岸線は、富士川河口か

ら柏原まで約10キロありますが、全般的に浸蝕が進んでいます。海岸線を見ていただければよくわかると思いますが、20年近くの間にはひどい所では80メートル以上も浸蝕されています。特に田子浦海岸の中丸付近では、堤防から波打ちぎわまで約10メートルほどしかありません。

昭和41年の台風26号では、高波によって大きな被害を受けたため、第2堤防が建設され、一時は地元の人達も安心しました。しかし、このように海岸の浸蝕が進んでいるのでは高波によって堤防がこわされてしまう心配さえあります。

海岸が浸蝕されるのは、富士川の砂利を採取したからとか、田子の浦港の建設を行なったためだとも言われています。しかし、富士川に砂利をもどしたり、田子の浦港をこわして昔のようにするわけにはいきませんから、どうしてもこれ以上の浸蝕は食い止めなければなりません。

### 国が浸蝕防止対策を 積極的に推進

しかし、防災工事をするには何拾億、何百億という経費がかかりますから、市だけでこの問題を解決することはできません。といて、ほおっておくことはできませんから、国や県にも浸蝕防止対策をお願いしています。国でも富士海岸の浸蝕対策は積極的に取り組む姿勢で、専門研究班をつくり、研究を進めています。

災害を受けてからではおそすぎますから、市も市民みなさんと一体になって、この問題に取り組んでいきます。



左の写真は、海岸を浸蝕から守ろうと元吉原海岸で9月1日に開かれた住民集会

ひとこと提言

# 歩道に自転車やオートバイを置かないで

8月の広報紙だったと思いますが、歩道の段差についての記事が載っていました。私も子供が小さい時、乳母車で困りました。先日、買い物に出かけた時、歩道のこととちょっと気がついたことがありますから、ひとこと言わせていただきます。

歩道は歩行者が安心して通行できるようにつくられていると思いますが、オートバイや自転車、店の看板、ダンボール箱などが雑然と置かれ、歩行者の足をとめてしまっています。歩いている人がからだをよじってみたり、仕方なく車道に出て車の流れの中を歩いている有様です。

乳母車の人、荷物の多い人は困り果てていました。特に小学生が、交通の激しい車道を歩いているのを見ているとはらはらしてしまいます。

国道1号線をはじめ大月線、町の中でもよく見かける困った風景です。人の生命を守るのは勿論のこと、市を美化するためにもぜひ歩道は歩道として、利用でき

るようにしてください。

(本市場・一主婦)



【これでは歩行者が車道を歩かなければ通行できません】

## 加藤金一さん(松岡)が善行表彰



加藤金一さん  
(67才・松岡)

### …水門管理と操作に40有余年…

財団法人日本顕彰会から、昭和49年度社会貢献者(地域善行者)として、加藤金一さん(67才・松岡)が表彰されることになりました。

加藤さんは昭和の初めから、農業用水確保のため、用水取水口の水門

管理と操作につくし、広大な農耕地への用水を供給し、さらに水害防止にも大きな役割を果たしてきました。

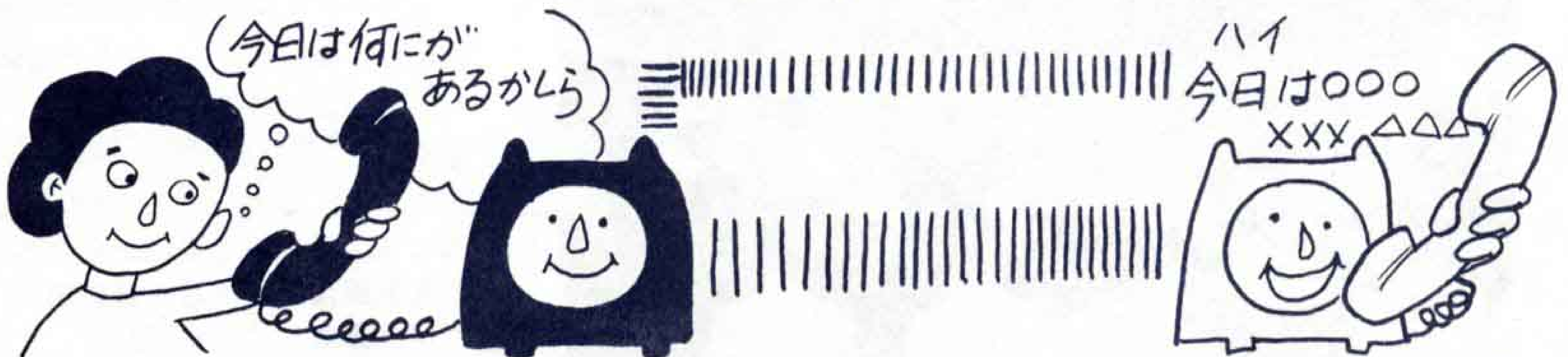
なお、表彰式は9月26日に東京で常陸宮殿下同妃殿下の御出席のもとに行なわれます。

## ダイヤル市政案内をご利用ください

電話番号

# 52-1111

催し物や各種の募集、予防注射、休日当直医などを電話でお知らせしています。すでに録音してあるテープで、毎日の行事案内を流しますから、いつでも知ることができますのでご利用ください。電話番号は52-1111です。



## お母さん達の勉強会

婦人夏期大学講座が8月17日と18日の2日間、富士文化センターで行なわれました。講座は全国地域婦人団体事務局長の田中里子さんの「これからの消費者運動のすすめ方」、茨城大学教授の高久清吉先生の「家庭教育の土台」についてなどです。日頃家庭のことにおわれている婦人も、日常生活に取り入れて行くことができる話しとあって、熱心に講座を聞いていました。



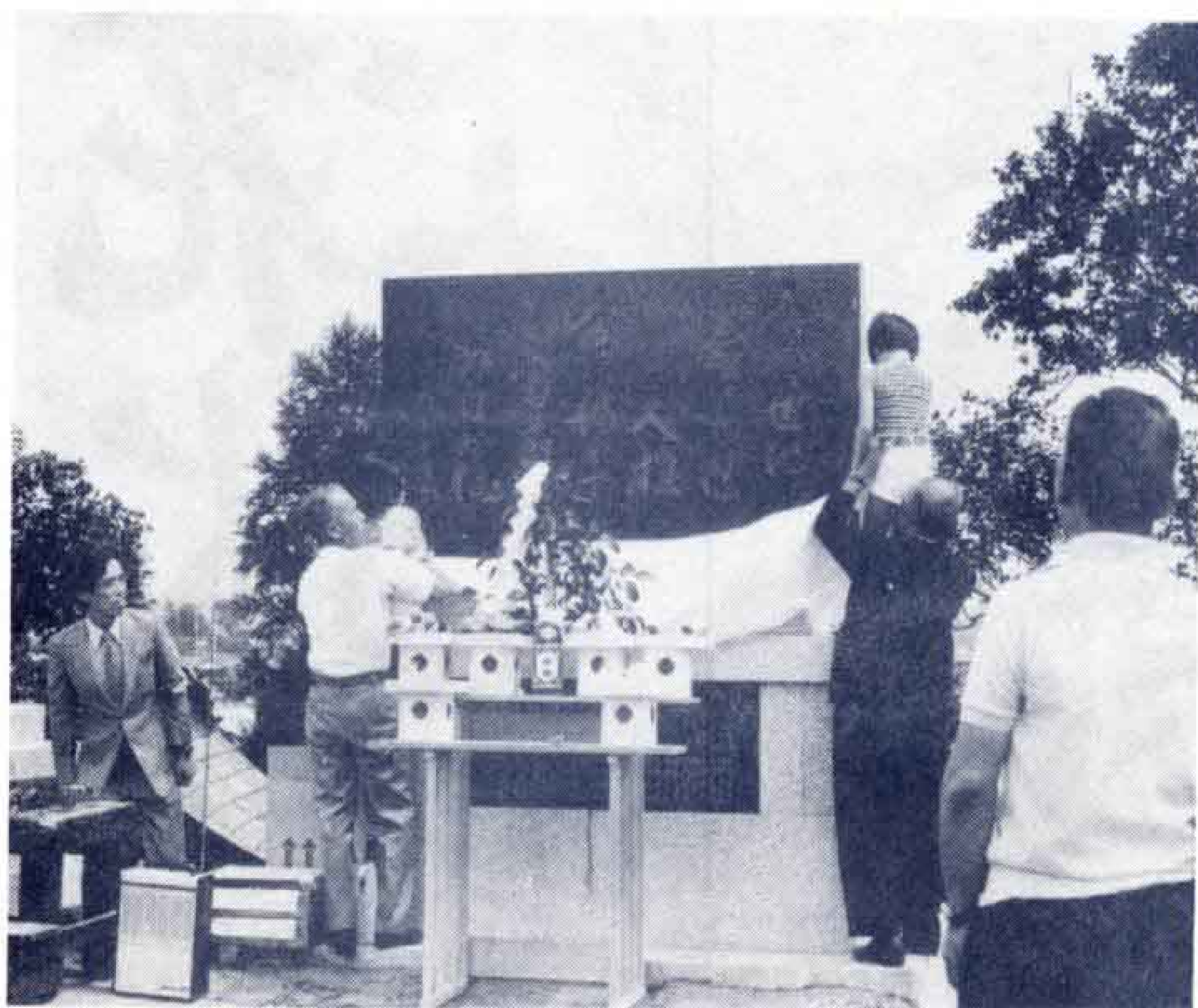
### 丸火自然公園で楽しい1日

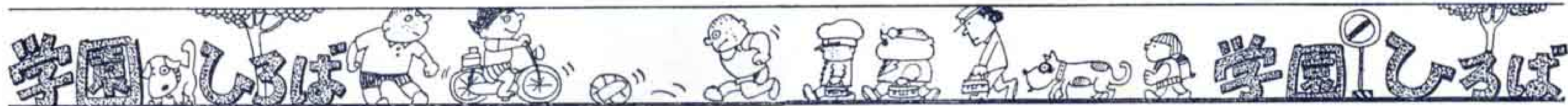
心身障害児(者)の親子レクリエーションを、8月18日丸火自然公園で行ないました。宝さがしやゲーム、ヨーヨー釣り、富士見高校のおねえさんの紙芝居を見たり、吉原歌の会の人達による模擬店で焼ソバ、トコロテンなどを食べたりして、楽しく1日を過しました。

### 雁堤の碑や供養塔を建立

富士川の雁堤に、雁堤の碑と築造に当たった時の代官古郡孫太夫親子3代の碑、人柱になったお坊さんの供養塔が建立され、さきごろ除幕式を行ないました。この碑は、雁堤築造の偉業を後世に伝えようと、十兵衛南区長縣金造さん、市町内会連合会会長加藤源治さんらが発起人となって、各種団体などに呼びかけて建立したものです。

雁堤は、古郡孫太夫重高、重政、重年の親子3代が、50年の歳月をついやし、住民の協力で、延宝2年に完成しましたもので、富士市を富士川の洪水から守っています。なお、当時は加島、田子浦、島田、吉原宿などの村々50部落に分かれていました。





# 私のお父さん

元吉原小学校5年 高木美也子

くづく思います。そして、私はやさしい父が大好きです。

私のお父さんは、市役所につとめています。仕事がいそがしくて、家に帰るのがおそくなるので、食事がいっしょにできないこともときどきあります。だけど、みんなそろると父が昔の話しをしてくれたり、仕事の事をお母さんに話したり、時にはみんなで歌を歌って、家庭を明るくする陽気な父です。

また、お父さんは動物もかわいがります。弟が、かぶと虫をかっていたら

「虫がかわいそうだから、にがし

てやりなさい。」  
と言って、木にはなしてやりました。私達にも、おぼあちゃんにも、動物にもとてもやさしい父です。

夜になって、みんながねむるところじまりはちゃんとしてあるか、すみずみまで、ていねいに見まわりをして、しめてない所があると、またちゃんとしめなおしてくれます。私は、とてもお父さんは家の事を心配しているのだと思います。こんなに家の事を思って、私たちのために働いてくれる父をもって幸せだなとつ



## 親と子の市政教室

### 丸火自然公園や消防署を見学

みんな市役所のことは学校で勉強しているから、どんな仕事をしているか知っているね。けどもっとよく知ってもらおうと8月22日と23日の2日間、「親と子の市政教室」を

開いて、施設や仕事をしているところを見てもらいました。

市政教室に参加したのは、ハガキで申込みのあった50組、100人の親子です。午前中は、大型バスで市内

を回って、富士川の緑地公園、第1清掃工場、丸火自然公園、消防署などを見学しました。午後は、施設などを見学して気づいたことや、みんなが市役所にやってもらいたいことを、渡辺市長さんや市の部長さんなどと話しをしました。



#### わたしの作品

富士第二小四年 立田美穂



〔評〕太目の線で美しく書けています。ただ「上」の字が花におさえられた感じがします。もっと横線に注意したらすばらしかったなと思います。しかし、全体の力強さに助けられ立派な作品です。名前もうまいですね。(窪田哇川)